

## 1 児童育成センター運営業務の民間委託について（アンケート結果）

令和2年4月から児童育成センター48箇所（60支援）のうち46箇所（58支援）の運営業務を株式会社トライグループ委託しました。※現在、公設公営の2箇所（2支援）については、令和3年以降に業務委託する予定です。

### (1)目的と効果

#### >目的

児童育成センターを民間のノウハウを活かした事業運営（**民間委託**）に転換することにより、児童への**育成支援の充実**と慢性的な**人材不足の解消**を図ります。

#### >効果

- \* 専門業者のノウハウを活かした支援プログラムと職員研修の充実により、育成支援の充実・質の向上を図ります。
- \* 専門業者のネットワークを活かした人材確保により、通常の運営はもとより、新型コロナウイルス感染症による小学校臨時休校の1日開所など、急遽の対応においても適正な人員配置により対応しました。
- \* タブレット端末を活用した保護者への入室メール・緊急メールの配信など、児童の安全管理の充実を図っています。

### (2)アンケートの実施

#### >目的

株式会社トライグループへの業務委託後の児童育成センターの運営について、保護者、児童、学校へアンケートを実施しました。

#### \*保護者へのアンケート

主な質問	結果(パーセント)
安心して預けれるか	非常に安心(33.9) 安心(51.8) 普通(10.1) 不満以下(4.2)
施設や室内環境	非常に満足(11.3) 満足(40.2) 普通(42.2) 不満以下(6.3)
職員の対応	非常に満足(33.4) 満足(43.4) 普通(20.9) 不満以下(2.3)
習得・成長したこと	【成長】している(33.7) すこし(44.9) どちらとも(19.5) していない(1.9)
運営全体について	非常に満足(15.7) 満足(51.3) 普通(29) 不満以下(4)
(委託業者に期待することは・・) 安心・安全な居場所の提供(84.3) / 学習の習慣づけ(45.3) / 基本的な生活習慣づけ(32.5) コミュニケーション能力(32) / イベントの実施(25.1) / 職員の資質向上(20.8)	

#### \* 児童へのアンケート

とても楽しい	楽しい	あまり楽しくない	まったく楽しくない
44%	44%	10%	2%
「児童育成センターの過ごし方」をどのように感じるか(保護者から子どもへの聞き取り) 非常に満足(20.2%) / 満足(43.4%) / 普通(30.5%) / 不満以下(5.9%)			

#### \* 学校へのアンケート※委託した学区のみ

Q 児童育成センターとの情報共有や連携の在り方が変化したか？

A ①変わっていない 24校

②変わった 6校

- ・より情報共有できるようになった、若い職員が増えた
- ・下校時刻と開館時刻が合わないことがあった。
- ・開館前の時間に受け入れてもらえなかった。
- ・市統一の対応となり個別の相談がしにくくなった

# 報告事項2 「放課後児童健全育成事業の取組み」

## 2 令和2年度 放課後児童クラブの整備について

### 児童育成センターの整備(大樹寺・城南学区)

#### ※大樹寺学区

設置場所	大樹寺小学校内(教室)
定員	50名(受入量は、50人増の100名)
開設年度	令和3年4月予定
特色	現在、小学校の1教室を専用施設として活用し、2館目は、新たな活用方法として、普段は、学校が授業などに使用し、放課後等の時間帯に利用する、「学校との共用利用」による活用を予定

#### ※城南学区

設置場所	城南小学校内(会議室)
定員	50名(受入量は、50人増の100名)
開設年度	令和3年4月予定
特色	現在、1館目は小学校敷地外に設置しており、2館目を小学校施設に設置する初めての学区となります。したがって、大樹寺学区の2館目と異なり、専用施設として整備します。

### 放課後児童クラブの整備(小豆坂学区)

(仮称)市営五本松住宅の敷地内に放課後児童クラブを設置します。放課後児童クラブの運営については、岡崎市が実施主体(児童育成センター)として運営を民間委託するのではなく、公募により運営可能な事業者(実施主体)を選定し公設民営による新たな運営手法により受入量の確保を図ります。

設置場所	(仮称)市営五本松住宅敷地内(集会施設との併設)
定員	50名
開設年度	令和3年度中を予定(令和2年度中に運営事業者を選定予定)
特色	地域の特性を活かした特色あるクラブ運営の一つとして、放課後児童の学校からの安全・安心な移動を確保するために、小豆坂学区を含めた近隣学区の送迎支援等も公募の条件に加えることで小豆坂学区に加え、近隣学区の放課後児童の受け皿にもなる広域的なクラブ運営が期待できます。

